

科目責任者 石井 一行 (衛生化学教室)

■ 教育目的

No1~4:疫学と健康対策について、具体的な事例を使って理解を深める。

No5~8:食品衛生と健康について、具体的な事例を基に理解を深める。

No9~11:化学物質の試験法や薬毒物の試験法について理解する。

No12~15:栄養化学の中で特にビタミンとミネラルについて、健康との関係を理解する。

■ 学習到達目標

1~4:生活環境（食品、環境、薬）と疾病の関連性について、疫学研究報告から事例を学ぶ。国際的な視点から、日本の健康水準や健康維持・増進対策について理解する。5~8:食品の安全性と衛生管理について、法的規制による健康維持・増進対策を理解する。No9~11:化学物質の試験法や薬毒物の試験法について理解する。 No12~15: ビタミンおよびミネラルの生体内での働きについて、欠乏症や過剰症を通して理解する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：教科書、配布資料に目を通しておくこと。

復習：講義内容について整理しておくこと。

■ 授業内容

1~4:生活環境（食品、環境、薬）と疾病の関連性について、疫学研究報告から事例を学ぶ。国際的な視点から、日本の健康水準や健康維持・増進対策について講義する。5~8:食品の安全性と衛生管理について、法的規制による健康維持・増進対策を講義する。No9~11:化学物質の試験法や薬毒物の試験法について講義する。No12~15:ビタミンおよびミネラルの生体内での働きについて、欠乏症や過剰症を講義する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	疫学Ⅰ	食品と疾病	C11 (3) -4-1~4-3
2	疫学Ⅱ	環境と疾病	C11 (3) -4-1~4-3
3	疫学Ⅲ	薬と疾病	C11 (3) -4-1~4-3
4	国際保健	世界から見た日本、WHO 健康対策、セルフケア	C11 (2) -3-1~3-7
5	食品衛生Ⅰ	食品添加物の安全使用	C11 (1) -2-6~2-7
6	食品衛生Ⅱ	農薬の安全使用	C11(1)-3-5、C12(1)-3-3、-4-1
7	食品衛生Ⅲ	自然毒とその対策	C11 (1) -3-3~3-4
8	食品衛生Ⅳ	新開発食品の安全性確保	C11 (1) -2-9~2-10
9	化学物質の毒性	化学物質の毒性試験法	C12 (1) -3-1
10	裁判化学 (1)	薬毒物の分析法 (1)	C2 (3) -3-1~3
11	裁判化学 (2)	薬毒物の分析法 (2)	C2 (3) -3-1~3
12	栄養化学 (1)	ビタミンの欠乏症と過剰症 (1)	C11 (1) -1-1 C11 (1) -3-8
13	栄養化学 (2)	ビタミンの欠乏症と過剰症 (2)	C11 (1) -1-1 C11 (1) -3-8
14	栄養化学 (3)	ミネラルの欠乏症と過剰症 (1)	C11 (1) -1-1 C11 (1) -3-8
15	栄養化学 (4)	ミネラルの欠乏症と過剰症 (2)	C11 (1) -1-1 C11 (1) -3-8

■ 授業分担者

No1~4 赤沢 学、No5~8 永山敏廣、No9~11 石井一行、No12~15 服部研之

■ 成績評価方法

No1~4:課題レポート 25 %、No5~15:期末試験の成績 75 %で評価する。

■ 教科書

No1~4 プリント

No5~15 「第4版 衛生薬学—健康と環境—」井村伸正・渡部 烈 編 (丸善) 及びプリント